あらまあ荘ニュース

1981年
4月1日

かじゅこ松島
八鍬真佐子

四月一日にふさわしくなく
このニュースは真実のみを報道しています。

佳人ぜんぶ大風邪をひきました。

人間もそうですが、猫さんにはたちの悪い風邪が流行っています。
くしゃみをして鼻水をたらして目がくしゃくしゃになります。早目にお医者さんへつれて行って下さい。
はやくなおるようにみんな色とりどりのセーターを着ています。ウィルスの組合せがだんだん複雑になって、なおりにくいのです。
ただし、人間にはうつりません。

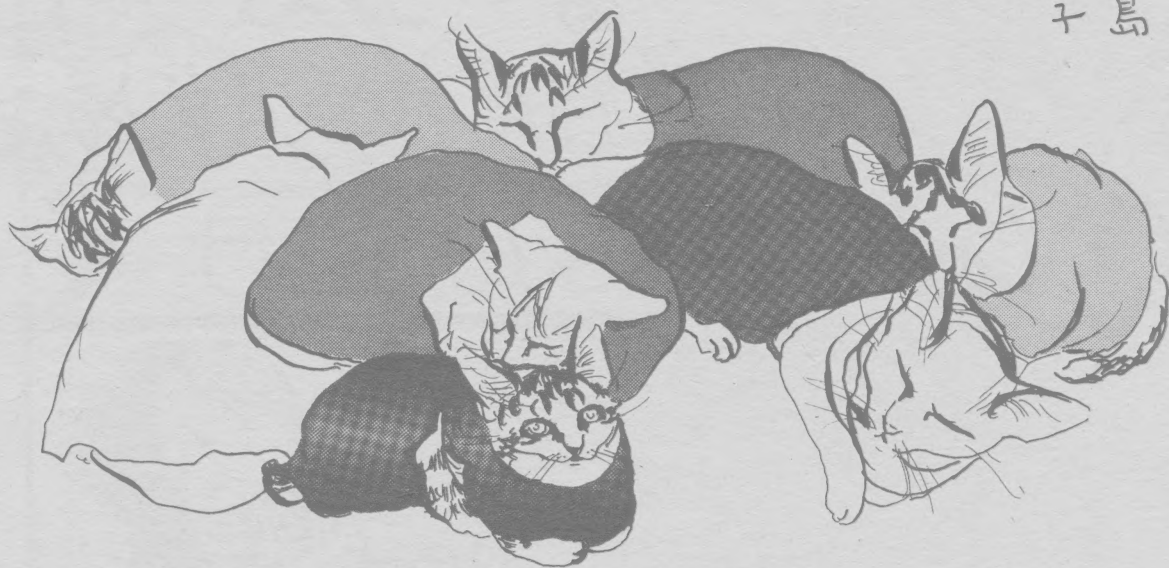
セイタさんの奥さんは

少し貧血ぎみで、献血に行ったとき「救急車を呼ぶようでは困るから」と、断わられたという人です。
そのくせ熱いお風呂が好きなので、上ってからよくバスマットに正座して息をととのえます。
猫さんたちは待ちかまえていてそんな時にも膝に争って坐るのです。
だんなさまがお水を持って来ると喉が乾いてもいない猫さんたちも飲みたがるので、一緒にのみます。

Kajuco

自然と人間を考える
どうぶつ会議かいほう

1981年
4月1日

かじゅこ松島
八鍬真佐子

自然を荒らし動物を減らす人間問題特別委員会発足！

人間代表数名を召喚

めちゃくちゃな答弁に動物委員驚愕

本当にこんな程度なのか

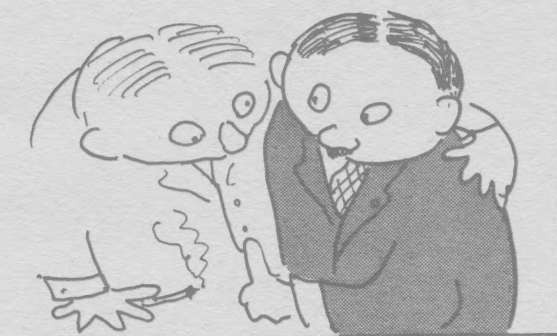
代表選定法に疑問の声あがる

春の大雪にめげず大勢の傍聴者

動物の期待を集めた初の特別委員会でしたが、人間代表の言動には失望と怒りの声があがっていました。今回だけでは書ききれないので、つづきもので速記録からお伝えします。

人間のみなさんどうぞ御入場下さい。

ふん。動物どもめ！

人間さんのせいで動物が減っている事について御発言願います。

masako yakuwa

御質問の意味がわかりません。

人間にとって、動物が減る事はどんな意味をもっていますか？

牙や皮が減るのは事実ですが、動物が多いような野蛮な状態は開発によって解消して行かねばなりません。

それなら動物が減っているのは認めているのですね？

いいえ、皮や牙が減っているのを認めているのです。これは重大問題ですから早急に対策をたてます。

おまえの商売が大切か、俺のが大切か、よく考えてみろ！

（メモを持った人間が走り廻

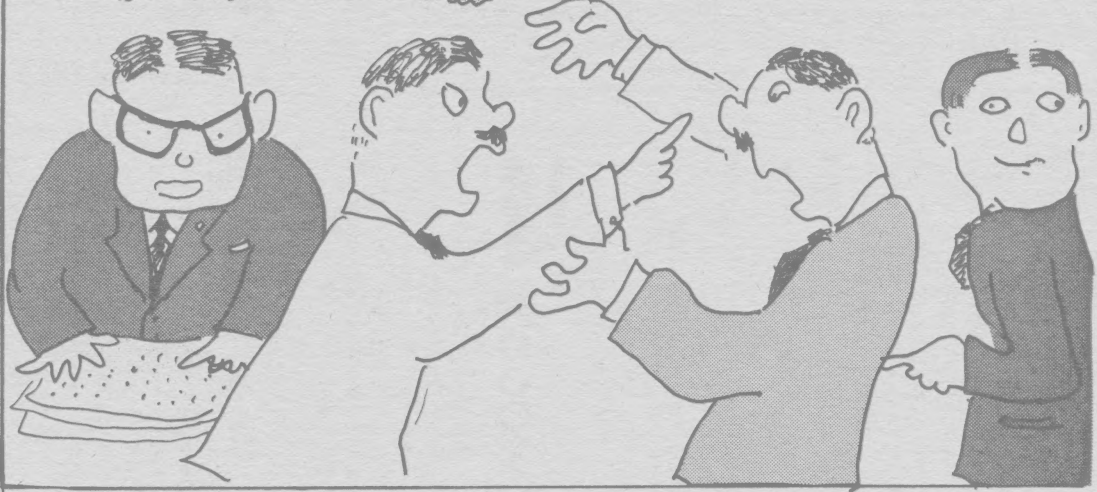
お答えいたします。
動物はふえています。

えーっ。
どこで、どんな動物が増えているのですか？

動物園でライオンがふえています。
また適正な飼育により牛・豚・鶏などは大変に増えて、各企業は順調に利益を上げ、関連の役所も潤って問題はございません。

動物園はともかく、アフリカでは私達ライオンが非常に減っています。
それについて御意見を。

アフリカは問題でございません。

何故ですか？問題でないというのはどんな意味ですか。

上段傍聴者、下段は人間代表

り、グループに別れて相談。やがて）

えー、人間の動物愛護というのは大変高度な段階に達しておりまして、動物園に於ては、動物は他の動物に喰われるような事はない餌も充分与えられている、管理社会の恩恵が動物にまで及んでいるわけでして、人間はそこで楽しみ、子どもにも文化的な影響を与えます。

愛というのはですね、自分のためのものではないでしょう?! さっきから聞いていれば自分たちに都合のよい事ばっかり。
人間には義務というものが無いのですか？

愛護は義務ではなく人間の権限です。

（つづく）

嘘つきの日記

一九八〇年・晩秋。上

No.4

永島慎二

○月×日　いちにち一日が、ただなんとなく流れて行く。私はこの頃なんにも手につかない。かつて熱中したものの山の中でのんびりうろうろしている。何かをさがしたい、なにかを漠然と待ってたりして過している。

○月×日　どういうわけか、最近わたしは自分の中に閉こもって外に出ようとしない。では家の中が楽しいのかと云えば、それほど、楽しいと絶叫しなけりゃならない程楽しくはない。

○月×日　まるで、起きて居る時が寝ている時で、寝ている時が本当は起きているんではないだろうか？などと、考えながら寝床に入る。

○月×日　模型鉄道のレイアウトの世界では、欲ばりは禁物とされている。ところがわたしの場合、日々ぶらぶらしながら、その欲だけがふくらみ、毎夜なにをしているかといえば、レイアウトの為の8の字もようの線路の配線にめいっぱい頭を使う。すでに何十枚かかいている。わたしの大変さは、前にも書いた様にHO・N・Zの各ゲージを無差別に始めてしまったことにあり、自分としてはざんきの念にたえない。

○月×日　少し寒くなるとZゲージのレイアウトのあるアトリエに行くのが面倒くさいのでZゲージは線が引かれ、ベルホビィ主人の配線ですべて電気かんけい完了のところでうっちやらかされて、Zゲージ用の家も40軒程出来ていながら、気分はNゲージにうつっているため今日はベルホビィに出かけてゆく。主人に縦二メートル横一メートルのNゲージ用のだいわくをちゅうもんする。

○月×日　今日の雨は、傘に重く感ぜられる程に激しかった。ちょっとの間に、ひざから下がずぶぬれになった。買って来た模型鉄道の材料がぬれやしないかと心配した。

○月×日　模型鉄道の事ばかり考えている。自分でもどうしようもないところでそのことだけを考え続けている。

○月×日　今日は名案がひとつうかんだ。机の前約1.8メートルのスペースに20センチ程の板をおいて、そこで模型鉄道を動かして見ようと云うのだ。さっそく角のかなもの屋で30センチ巾のラワン材を一枚買って来てそれに、HOとNゲージの線路をうちつけ、好きな時に汽車とかディーゼルを動かして見る事が出来るよーになったのは良いのだが、仕事をする為にすわる机の上で、深夜わたしは、模型の汽車を行ったり来たりさせるのに忙しくなって、仕事は前にもまして進まなくなってしまった。

○月×日　今日もまたつまらない一日だった。

○月×日　前にも書いたが、いわゆるわたしは鉄道マニヤではない。

本物の汽車よりも模型の鉄道を好きになってしまったのだからしかたない。でも模型でよかったと思う夜もある……本物は買いきれないしたとえ買えたとしても、おくところがない。

○月×日　猫のクンペが風邪をひいたらしく、自分の家の屋根の上で、（ハナをたらしているのは一年中だが）眼やにまでたらしている。くしゃみをひとつすると、わたしのゲタの上にクンペのハナ汁がとびちった。わたしはそのゲタをはいて駅前のぎんなんにコーヒーのみに出かけてゆく。足とゲタの間がぐちゃ〱云う。コーヒーのみながらやっとスコッティで足とゲタをふいて思った。どうせスコッティでふくなら、クンペがくさめをする前に、クンペの目鼻をふいてやれば良かったと。

○月×日　模型鉄道を運転していると一日が終わる。

○月×日　模型鉄道を運転しながら（と云ってもただ行ったり来たりさせるだけ）長嘆息をいっぱつ。

○月×日　机の前で行ったり来たりするだけでは満足出来なくなって来たので、裏の台所の4.5帖程の半分に畳二枚分の板を置いてその上にグリンの布地をひいて、メルクリンのHOの線路を引き廻し、そのあい間、あい間にお叔にもらった石を置いたり、前もって作っておいたHO用の家を何軒かと、樹木これもきせい品をあっちこっちにおいて、一夜でレイアウトを作ってしまった。小さなロコに貨車15両ぐらいひつぱらせて走らせて見る。感激する。少し寒いが気にならない。

○月×日　少し気分を変えて見ようと思って、午後めざめるとすぐ顔を洗って新宿に出る。人々が信じられないくらいいる。映画はつまらなかった。再び街に出ると人々がわっと居るので、なんだかものすごくつかれる。

○月×日　眼がさめた時、なんとなく楽しいユメを見ていたような気がした。夜、友人二人に裏の模型鉄道を得意になって見せる。なんとなく良い気分になって来たので調子にのって二台走らせて、説明していると、汽車とディーゼルが正面衝突をして、約一メートルの高さから貨車が一台転落してバラバラになってしまった。深夜セメダインでその貨車をなをしながら……その場面をユメで見たと思った。どうして、このようなことが楽しい気分であったのかを考えていると朝であった。

○月×日　眼がさめると、世界はあった。地球ががたがた云ってこわれる夢を見ていたのだ。気分はさ程悪くはない。地球が今まさにこわれようとすることのこわかったこと。不思議なことに、その時わたしの未来において作られるはずの模型鉄道がすでに完成していて、わたしは熱心にその運転をしていた。グラリと来てものすごい地鳴りのような音が体に地球が終ることを知らせてくれる。ああわたしの大切なディーゼルが落ちて行く。続いて右手の大きな山に割目が走る。わたしの家がゆっくりキシミながら倒れてゆく。阿佐谷全体が地球の割目に落ちても行く。この時セザンヌもピカソもベートーベンもゲーテもわたしの模型鉄道と共にほろびて行くのだとウッスラ考えていたようだ。

○月×日　横一メートル縦二メートルの9ミリ用のだいわくがベルホビィからとどいた。その夜のうちに線路をつなぎ合わせ

て、列車を走らせて見る頃には朝である。

○月×日　午後、9ミリを走らそうと思って、裏のアトリエに行くとクンペがついて来る。最近めずらしいので扉をあけておくと、ゆっくり用心深くクンペが入って来る。扉をしめると、わたしはHOのレイアウトの前に坐って、ドイツの機関車が20両もの貨車を引っぱって走る姿を見ることに熱中する。機関車たちはコトコトンと本当の音を出して走っている。ふと見ると、クンペがあがりがまちのところにチョコンとすわって、そういったわたしをじっと見ていた。

○月×日　夕方庭に出ると、秋の深さを感じた。プールにおおいがかけてある。木々の枝は、家内によってあちこちがちょん切られていた。クンペがめずらしく走りまわるので、わたしもつられて、暗くなるまで庭の中を行ったり来たりした。クンペとわたしのはく息だけが白くあわれな感じであった。

○月×日　ベルホビィ主人が来てくれて、電気かんけいの配線をやってくれた。タンテーブルからおうぎがた車庫等、今度の9ミリレイアウトは同時に二列車を別々に走らせることができるように考えて、出来るだけ線路を少なくして風景を大切にする事にした。夕食はベルホビィ主人とカツ丼を食べた。運転ばんは自宅に帰ってから作ると云うことで、ベルホビィ主人は午後9時頃帰って行く。その夜わたしは、HOのレイアウトのための8の字かきに没頭する。

○月×日　一時の熱は少しさめた感じで、ここ何日間か、まんがを描いて暮した。と云っても、連載であるからして、どーしても描かねばならぬからそうしたのであって、おかげで模型鉄道と少しばかりはなれていられた。

○月×日　さく夜いくつかの仕事が上ったかして、気持良くめざめたので、午後5時頃家を出てぎんなんでコーヒーのんでから、中杉通りをブラブラベルホビィまでゆきそこで模型鉄道の材料を買って、ハナうたなんぞうたいながら、暮れなずむ街を歩いて帰って来ると、間もなく四人の知らない男たちがたずねて来た。何年か前まで、わたしは深夜まりわなをすってまんがのあいであなんか作るつもりでメイソウにふけったりするクセがあった。そのことでGメンが来たのだった。ひにくなもので、模型鉄道のことで頭がいっぱいで、それどころでないというか自分でも忘れていた頃にGメンたちはやって来たのだった。こうしてわたしは、はるばる浦賀まで連行された。つまり逮捕されたのだ。と自覚したのは浦賀につくまでの車窓から見えた風景によってであったのかも知れない。はずかしいと思った事は、裏のアトリエからエロ本が数冊出て来た時と、横須賀署の留置所の中に入る時にパンツいっちょうにされて、まさかそんなことがあるとはユメにも思ってなかったもので、三日程風呂に入ってなかったので下着がよごれてたような気がして顔から火の出る思いをした。ガチャーンと鉄の扉のしまる音がして、それからわたしは本当に一人になった。

一九八一年二月五日

つづく

マンガの眼⑮

「フリテンくん」のクールな感覚

梶井・純

いしいひさいちという四コママンガの新しい資質がでてきたせいもあってか、四コママンガへの関心がたかまっているようにみえる。関心がたかまったということは、ある部分ではとりもなおさず四コマ作品じたいが、従来にましておもしろくなったことを意味する。もちろん、ひとつのヒット作品の亜流が輩出するのは、つねのできごとにすぎず、へたな鉄砲も数多くうてば当たる式の単純な背景の存在も否定はできない。

最近、ずいぶん人気がでている植田まさしの「フリテンくん」を読んでいると、はじめの印象とちがうものを感じた。なぜこんなに絵のへたな特徴のないマンガが好まれるのかとおもった第一印象は修正する必要もないが、だからこそ学生や若いサラリーマンに支持されやすいのだなという感想を追加しなければならない、とおもった。

絵がへただからいいとか、特徴のないところがいいとかいってごまかしたいわけではない。植田の作品をみていると、たとえばここは東海林さだおだなとおもわれるような部分がよくあるけれども、東海林より絵がうまいかといわれれば植田本人も、首をかしげるほかないだろう。しかし、それは、キャリアからみても、しかたがないことだろうし、これも植田本人が感じているにちがいないように、そんなことは知ったことではない。

もんだいは、植田がなにを描いてしまうかである。「フリテンくん」と「ショージくん」は、小状況としてかなり近似した世界を材料にしている。そのことを前提としていえば、若い無名のサラリーマンの公約数的なもののあらわれかたに差のあることに気づく。ショージくんとその同僚たちは、小市民性を絵に描いたように(!)そうとういじましい。しかし、東海林じしんの社会観のせまさ(ひろいからいいというものではないだろう)とそのことへの自覚を映す含羞が登場人物に色濃く重ねられている。いっぽう、フリテンくんたちのいじましさもかなりのものだ。しかし、その小心ないじましさについての植田じしんのどのような感慨も反映していない。この点は、一方が四コマ作品で、一方がそうではないという条件と無縁であるのはいうまでもない。

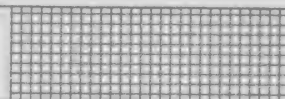
このちがいを読者がどううけとるかが、どちらの作品にアクチュアリティがあるかを決定している。四コマものではないが、典型的な植田の作品にこういうのがあった。学生のむかいのボックスシートの二人づれが足を座席に投げだす。学生はチラリと女のスカートの奥に目をやる。気がついた二人づれに、さんざんいやみをいわれ、学生はいたたまれず肩をおとして下車してしまう。「降りちまいやがんの」と大笑いする二人づれが、ギョットして窓外をみる。くだんの学生がアカンベーをしている。かれは二人づれがぬいでいた靴をそれぞれ片方ずつもって下車し、動きだした車両の前で靴に小便をかけていた。

植田の四コママンガには、この種のもの――他人を困らせたり、いじわるをしたりするテーマはしばしば登場する。そこにあらわれる主人公たちのぬけぬけとした感覚は、ことばだけではみごとな不逞さといえないわけではない。けれども、かれらの行為のスケールの小ささ、あまりに卑小ないじましさに、おかしくなるよりも先に、さびしくなってしまうことが多い。そしてさらに、そのことについての作者の自覚のなさ(というよりも、通俗的にいえばクールな態度、というべきか)にしらけてしまう。

これから先は、好みの問題になるけれども、東海林ならさきの「学生」に小便をさせずに、靴の片方ずつを失敬してきてやったという正当な復讐心と下らぬことでしか対抗できなかったいくじのなさの両極にたつ学生を描くことで作品を終わらせるだろう。東海林さだおの主人公たちのウエットな認識は、やはり社会的な雰囲気として強固にたちはだかっていた「高度経済成長」という時代感覚に抗する意味をもっていたのかもしれない。その意味では、「フリテンくん」が抗すべき時代感覚は、植田まさしじしんに見えていないようにおもわれる。

竹書房刊『フリテンくん』より

物一覧表

振替東京０－135477
〒101　千代田区神田神保町１の62

青林傑作シリーズ　各巻Ａ５判　1200円

①フーテン(上)　永島慎二
虚構の青春の中に真の人間の生き方を鋭く抉り、
永島慎二がやさしく君に語りかける。

②フーテン(下)　永島慎二
人生とは何か？……青春とは……。
若き世代の苦と喜びの青春残酷物語

③寺島町奇譚　滝田ゆう
古きよき時代の下町を絶妙の名人芸で描出する。

④黄色い涙　永島慎二
悩みと喜びの青春をゆく旅人たち
永島慎二がやさしい若者たちに送る友情の記。

⑤だめ鬼　村野守美
人生の機微を描いて温かく感動を呼ぶ
村野守美絶妙の職人芸！

⑥そのばしのぎの犯罪〈第一部〉　永島慎二
激しい浮沈の運命を生きる男そのばしのぎ、
シリーズ青いカモメSIDE②

⑦狂人関係〈第一部〉　上村一夫
風狂の絵師上村一夫が描く画狂老人北斎の生涯！

⑧青春相続人　宮谷一彦
極寒のアラスカに伝説の黄金トナカイを追う、
天才宮谷一彦が現代に問う青春論！

⑨花いちもんめ　永島慎二
メンコのスーパーヒーローナタ政とゆかいな仲間たち
がくりひろげる痛快下町メンコ戦争！

⑩白い伝説　真崎　守
北国の長い夜に語りつがれて来た雪女伝説、
飛んでる真崎守が新しい神話を送ります。

⑪狂人関係〈第二部〉　上村一夫
葛飾北斎とめぐる人々のおりなす壮絶なる人間模様。

⑫泥沼－どぶだめ　村野守美
巨匠村野守美がしみじみと人生を物語る、好短篇集。

⑬港野郎にきをつけろ！
貸本漫画時代のあの感動がいま鮮かに甦る、
永島慎二初期名作リバイバル！

⑭親不知讃歌（おやしらずさんか）　松本零士
敷井高志14才、親の知らない世界もある
これはその親の知らない物語………

⑮狂人関係〈第三部〉　上村一夫
降る雪に、散る花ビラに舞い惑う、画狂北斎をめぐる
鮮烈な人間像。

⑯よさこい節　青柳裕介
郷里・南国土佐を舞台に、デビュー当時の青柳裕介が
描く珠玉短篇集。

⑰秘戯御法（ひぎぎょほう）　村野守美
巨匠村野守美が性の深淵をえぐる!!

⑱おせん　楠　勝平
ひたすら漫画に命を燃やし若くして逝った楠勝平、
ここには、素直に涙できる本当のやさしさがある。

⑲狂人関係〈第四部〉　上村一夫
大好評上村一夫の最高傑作〈狂人関係〉完結編!!

⑳媚薬行　村野守美
欲望に操られる人生、媚薬に託した人の哀れ。

㉑そのばしのぎの犯罪〈第二部〉　永島慎二
月刊漫画ガロ大好評連載のうちに遂に完結！

㉒ブルーセックス　川本コオ
遠い記憶の中から甦える甘ずっぱい思い出

㉓六の宮姫子の悲劇　つりたくにこ
不条理なたそがれの夜明け、
酔狂な愚者達が演ずる悲劇的喜劇の惨劇。

㉔龍神　村野守美
求めて追えば逃げ、拒めば追われ、
真にままならぬは業火現世の無常……

㉕サロメの唇　手塚治虫
むかし長崎に青い目の遊女がいた
異国情緒あふれるエロチックロマン!!

㉖傀儡がえし　白土三平
赤目の観世音と呼ばれる正体不明の忍者、
その不思議な術とは……!?

㉗ぬけられます　滝田ゆう
日本的な大衆の欲望と悲願とをとりあげた、
独自のユーモアの結晶!!

㉘チライ・アパッポ　矢口高雄
亡き愛妻の生まれかわりと信じ、男は幻の巨
魚を執拗に追い続けた……

現代漫画家自選シリーズ　Ａ５判

狂葬剣記　政岡としや　580円
ノッてる漫画家政岡としやの佳作短篇集

陽炎　青柳裕介　540円
デビュー当時の作品で綴る青柳作品の原形。

男一発　辰巳ヨシヒロ　480円
辰巳作品の根底に漂う無気味な亡霊を探り出す！

岩本武蔵　岩本久則　480円
不条理とアルセンスの二刀流宮本ならぬ岩本武蔵！

おえんの恋　池上遼一　480円
炎と化した江戸の町女が一人情炎に燃え盛る。

蒼き狼の咆哮　佐藤まさあき　480円
19才は死刑にならない！都会を彷徨する殺人者達！

よくふか頭巾　永井　豪　540円
根性と執念の男快盗よくふか頭巾は今日もゆく――

ホンダラ部落　砂川しげひさ　480円
飄飄とした描線にのせて贈るナンセンスの極地！

わら草紙　勝又　進　600円
農村の風情を背景に人の世のはかなさを描く。

乱華抄　上村一夫　600円
青い季節は哀しくて、狂乱綴子にしのび泣き。

日本チャンバラ伝　高信太郎　600円
手に汗にぎるしょんべんちびる、古今の豪傑の名勝負

与太　ほんまりう　580円
古き良き時代を背景に姉弟愛を描く秀作。

黒衣の妖女　平野　仁　580円
鬼才平野仁が秀麗なタッチでおくる快作。

喜劇新思想大系　山上たつひこ
抱腹絶倒＋驚天動地×支離滅裂＝●☆×●！!!？
正　580円　続　580円　続々　580円

血染めの紋章　かわぐちかいじ
2.26事件を克明に描写する！
第一部　580円　第二部　580円

青林堂出版

モヨリノショテン　マタハ　チョクセツ……
トウシャマデ　オモウシコミクダサイ

林静一作品集

彩色描き版40頁描き下し『花に棲む』
を初め、マンガにアニメに異彩を
放つ林静一のすべて！

B5判箱入・1600円

永島慎二傑作集

各巻／A5判函入上製本／330頁(カラー2色を含む)／1500円

第一巻　さんしょのピリちゃん(処女作)／天使のいる街／漫画家残酷物語／漫画博物館／はらっぱのものがたり／自画像　他

第二巻　愛犬タロ／源太とおっかぁ／拳銃物語／丘の上のホロ／新南月物語／生命／オムニバス恋／カカシがきいたカエルのはなし　他

第三巻　どんぐりと山猫／砂山／おしゃべりなトト／日本昔話／おふくろ／仮面／少年の夏／いじめっ子サブ／青春劇場／海　他

第四巻　心の森に花の咲く／ク・ク・ル・ク・ク・パロマ／ソウルの響き／青春裁判／少年／旅人くん／フォト・夏／遺書　他

芥川賞受賞作家 尾辻克彦こと赤瀬川原平の2大異色作品集!!

虚構の神々

UFO！現代の謎を追って、奇才・赤瀬川原平が快刀乱麻を断つ！

A5判上製箱入　一八〇〇円

櫻画報大全

全国読者の熱望に応えて新装改訂なった名著『櫻画報』の最終決定版！

B5判上製箱入　三〇〇〇円

送料は「性悪猫」「クシー君の発明」「タラコクリーム」「フープ博士の月への旅」「爆破」が各250円、「櫻画報大全」「風の吹く街」が各350円、その他は1冊につき各300円かかります。

評論

郷愁論—竹久夢二の世界　秋山清著
漂泊の詩人・竹久夢二の"郷愁"の本質をさぐり、反逆とは何かを問い正すユニークな夢二論
一、七〇〇円

沈黙の弾機　上野昂志評論集
赤瀬川原平論、加藤泰論(以上書き下し)、鈴木清順論、林静一論、ヤクザ映画論、歌謡曲論他
九八〇円

異端の唯物論　渡辺一衛評論集
60年安保以来派生した幾多の問題と真摯に取り組んだ画期的論文集—ソ連官僚制社会主義論
九八〇円

爆破　野本三吉著
〈コミューン〉を求めて彷徨う著者が若松との対話から人間の原質を問う衝撃のドキュメント
六八〇円

タラコクリーム　渡辺和博著

正義の筋肉、悪の筋肉、青春の筋肉、愛の筋肉がエネルギッシュにまとめあげた精神のボディビルマンガ!!

A5判・850円

性悪猫　やまだ紫著

せけんなど　どうでもいいのです
………お日様いっこ　あれば

A5判上製　950円

フープ博士の月への旅

たむらしげる著

夢多き大航海時代の月世界探険。
波乱万丈で驚天動地、
奇想天外で抱腹絶倒の冒険大活劇!!

A5判上製1000円

クシー君の発明

鴨沢祐仁著

魅惑のオブジェ　夜の星
流れ星がコスモにむかってスパーク

A5判箱入上製・1400円

月の光　花輪和一著

世人の怨念がうず巻く限り月の光は消えません、何百年でも何万年でも……

A5判上製貼函入・1400円

青の時代　安西水丸著

悲しく、孤独で、透明な意思が、
弱光の風景の中に鮮かに甦る。

A5判上製貼函入・1500円

ピクルス街異聞

佐々木マキ著

闇夜にひそむブラックホール
一度のぞいたらさあたいへん!!

B5判上製・1300円

シリーズ青いカモメSIDE④

風の吹く街　永島慎二著

出合い・別れ
人生の一瞬をとらえるユマニスム　B4変形・箱入上製本
永島慎二傑作短篇集　108頁(カラー15頁)／1800円

シリーズ青いカモメSIDE⑤

リリィのブルース

オチャメで楽しいシティガールの
オシャレで優しいラブストーリィ　永島慎二著

AB判・箱入上製本／オールカラー72頁／2000円

単純にして明快な事実

目安箱 180

上野昂志

illustration

世の犯罪のなかでもっとも多いのは何かといえば、やはりごく単純な物盗りとか強盗とか、それの延長での殺人といったもののはずだが、しかし、こういう単純犯罪？　というのは、あまり論議されることがない。小説でもルポルタージュでも犯罪論でも、取りあげられるのはたいてい複雑で難しい、平凡ならざる犯罪ばかりである。金が欲しいから強盗をしたとか、借金で首がまわらないから人を殺して金を取ろうとしたといったような、件数としては一番多いはずの犯罪はあまり問題にされないのだ。いったい、どうしてなのか。

単純すぎる犯罪は、話にしてもおもしろくないからか。あえて取りあげて、あーでもない、こーでもないと論じたり考えたりする必要がないからか。たしかに、金が欲しくて銀行に押し入ったとか、借金で首がまわらないから誰かを誘拐して身代金を要求したといった話は、その事実そのものは、凄いなあとかひどいなあとか、あれこれの関心をよび起こしておもしろいのだが、それを話に作りかえたり、あれこれ論じておもしろいというものではない。だから大部分は、新聞やテレビに事件として一回だけ登場して、あとはそれきり、せいぜいが、もう少しくわしく週刊誌になぞられるぐらいで終りとなる。こういう犯罪は次々と起こるが、そうやって、次々と忘れられていくだけだ。

日常的にはそうなのだが、しかしそれは、ことばの側の問題でもあると、わたしは思う。あるいはまた、我々の思考のパターンの問題でもあると思う。単純すぎておもしろくないとか、単純すぎて論じるまでもないということは、実は、我々の感覚なり思考なりのパターンが、それをうまくつかまえられないということにすぎないのではないか、という気がするのだ。いいかえれば、ことばが、複雑で難しいもの、つまり裏のあるものについてはうまく届くのに、単純明快、裏も表もなくすべてむき出し、といったものに対しては、ほとんどまったく役に立たないということなのだ。これは、我々の思考が表に出ているものよりは背後に隠れているものを重く見て、それをとらえることこそが本質をとらえることだとしてきた罪かもしれない。バチが当ったのだ。そうして、単純明快な事実は思考にひっかからずに透過して忘れられ、ただ事実として累積されていくことになる。

だが、どうやら、我々はいま、そのしっぺ返しをくらいつつあるようだ。状況は、社会の底から煮つまりつつあるのに、ことばは、それをいささかも生き生きととらえられないからである。現実は底われて、何もかもがむき出しに、露骨に現われているのに、ことばはひたすらその露骨さを避けて、依然として背後の本質なり真実なりを探ろうと暇つぶしをしているからである。犯罪はその一例である。犯罪は急激にふえ、しかも、単純明快な犯罪がふえているのに、ことばは、そのことをまともにとらえられないのだ。

笠井潔は『現代の眼』三月号のシンポジウム「現代転向論は可能か」において、こういっている。

「単純な話、この十年間で人が人を殴るという回数というのは、爆発的に増大していると思うんです。そういう統計は誰もとらないから、

全くぼくの時代的な直感でいうだけなんだけども、金属バット事件だとか、学校内暴力だとか、こういう事態のなかに、かってぼくがラディカリズムに突き当り、さらに革命という体験に突き当ったような、戦後社会への悪意というか、それを根本的に破砕していく力と同じものがあるんだなという、そういう感じがしているわけです」

笠井は、いいところに触れていると思う。とくに「この十年間で人が人を殴るという回数が爆発的に増大している」であろう、というところで。おそらく事実は、笠井がいう通りであろう。わたしはいま、眼につく範囲だけでも、自分で統計をとっておけばよかったと思うし、せめてこまかな新聞の切り抜きをしておけばよかったと思う。それらの事実こそ重要だからだ。ただ、笠井が、それらの現象を、「戦後社会への悪意」と読もうとすることには、そうしたいという思いは了解しながら、なお留保をつけたいという気がする。人が人を殴る、あるいはその延長で相手を殺してしまう、つまりは、行為がきわめて直接的に短い回路で発現しているさまを、ただちに「戦後社会への悪意」というような能動性の現われとして見るのにためらいがあるのだ。とりあえずは、もっと受動的な、戦後社会の、戦後的な構造の崩壊過程で強いられていること、と考えるのである。

殴ることもそうだが、いま我々の日常で起こっているのは、頭にきたから相手を殺すであり、金が欲しいから強盗をするであり、邪魔になったから殺すであり……というようにどれもこれも、きわめて露骨で単純で平凡な犯罪である。手口は複雑化しても、動機と行為はほとんど一直線に短絡しているのである。ここには、存在論的な犯罪などというような高級かつ難解なものはきわめて少ない。しかし見るべきは、この動機から行為への速度の早さと、その量的増大である。たしかに、金が欲しいから強盗をするなどというのは、平凡といえば平凡だし、昔からあったといえばいえるだろう。何も目新しいことはない。だが、それが、いつでも、どこでも、誰でもやるというように量的に拡大していることは、まさしく現在のことなのである。それは、たとえば経済的な角度だけから見ても、世をあげての「中流」ということと裏腹に、現実そのものがその底のほうから逼迫していることを現わしているだろう。貧しさが犯罪を生むなどといえば、いまではあまりにも古めかしくて、気のきいた社会学者なら鼻でわらうかもしれぬが、事実としてそれはあるのだ。というより、そういう古典的な認識がむしろいまこそ事実として露出してきている、といっていいだろう。実際、この都会では、金がなくては一日も生きていけない。また昔と違って誰でも簡単に借金ができるが、それが返せなければ文字通り身動きとれなくなるのだ。それは実に単純で明快なことだが、そこまで社会の底が水位をあげてきているのである。

頭にきたから相手を殴り殺すとか、一緒にいた人間が邪魔になったから殺してしまうということも、単純さ明快さでは同じである。そこから、心理的な要因をあれこれ読みとることは可能だろうが、一番はっきりしているのは、頭にきたということと殴り殺すという行為とを隔てる関係の網が解体しつくしているという点である。相手と自分とをつなぐ共同的な関係性、そこから派生するさまざまなもの、そういった一切が崩壊して、直接的にむき出しに人と人とが接触し、隔てあっているのである。

おそらく、これらの現象が、社会総体への悪意として形成されるにはもっと別なファクターが必要であろう。しかし我々は、まだ、それが何であるか、見当もついていない。そして問題なのは、このように日常化した犯罪、あるいは犯罪化した日常に対する処方箋のひとつを、国家はとうの昔から手にしているという事実である。その、きわめて古典的な処方箋とは、あらためていうまでもなく、戦争である。社会的なさまざまな矛盾を戦争へと昇化し、浄化すること、それこそが、現在の社会構成をそのままに、社会の底から噴出してくる暴力を処理するもっとも有効な手段なのだ。ここで我々は、戦争中にはほとんど犯罪がなかったという事実を思い出してもいいだろう。しかも、世の中、日常的な犯罪より戦争のほうがましだと考える人間は決して少なくないのである。ただ、ここでなお我々に考える余裕がわずかでもあるのは、現在では、古典的な意味での戦争は不可能だということのためである。また、それ故に戦争を社会内化した現在があるわけだが、その戦争と社会の関係になんかの決着をつけなければならない段階に、いま立ち至っているのだ。

青林堂出版物が常時揃う書店

（北海道地区）

- 札幌　旭屋書店／リーブルなにわ／なにわ書房／札幌書店／紀伊国屋／明正堂そごう店／ルビコン書房／富貴堂
- 小樽　BOOKS左文字
- 旭川　BOOKS平和三条店
- 北見　ブックセンターコバヤシ

（東北地区）

- 青森　サンロード成田本店
- 弘前　あすなろ書房
- 八戸　アリス書店
- 秋田　あさひ屋
- 仙台　仙台書店／八重州書房／金港堂／金港堂ブックセンター／ブックス宮城／米竹書店／宝文堂
- 山形　蔵王書店
- 福島　博向堂書店
- 郡山　東北書店
- 会津若松　福島書房大町店

（関東地区）

- 前橋　西武ブックセンター／パピルス書房
- 高崎　高志堂
- 宇都宮　新星堂
- 水戸　川又書店駅前店
- 千葉　プラザ多田屋
- 津田沼　芳林堂（パルコ）
- 船橋　ときわ書房／西武ブックセンター
- 市川　弘栄堂
- 本八幡　青春書店
- 柏　ローズアサノ／西口アサノ
- 浦和　須原屋書店
- 松戸　多田屋／良文堂松戸店
- 綾瀬　近代書店
- 東松山　比企文化社
- 川越　黒田書店
- 上福岡　黒田上福岡店
- 大山　岡田書店
- 板橋　至誠堂
- 足立区　オリエント三和
- 上野　京成明正堂
- 亀戸　鳳書院
- 御茶の水　茗溪堂
- 神保町　書泉グランデ／書泉ブックマート／文苑堂／高岡書店／西澤書店
- 水道橋　旭屋書店
- 白山　誠文堂
- 飯田橋　文鳥堂
- 神楽坂　文悠
- 四ツ谷　文鳥堂
- 赤坂　金松堂／文鳥堂赤坂店／イグレク書房
- 新橋　雄峰堂
- 銀座　旭屋書店／教文館
- 六本木　青山ブックセンター
- スキヤ橋　茗溪堂
- 目黒　学芸堂
- 荏原中延　草思堂書店
- 原宿　山下書店ブックス ラフォーレ
- 渋谷　大盛堂／旭屋書店／西武ブックセンター
- 下北沢　白百合書店／北野書店
- 経堂　キリン堂
- 祖師ケ谷大蔵　アイブックス
- 豪徳寺　田中堂
- 新宿　書原／模索舎／紀伊国屋／栄松堂／ブックスローラン／積文館／末広堂
- 大久保　太陽堂書店
- 早稲田　安藤書店
- 高田馬場　未来堂／ソーブン堂
- 池袋　芳林堂／旭屋書店／西武ブックセンター／三省堂
- 江古田　江古田書店
- 桜台　桜地堂
- 練馬　文誠堂
- 中野　明屋書店
- 高円寺　湘南堂北口駅前店／湘南堂南口店／現代書店
- 阿佐ケ谷　川合芙蓉堂／書原
- 荻窪　ブックセンター荻窪／積文館
- 西荻窪　世紀書店／新生堂書店／プラサード書店
- 吉祥寺　ウニタ書店／光陽館／元町通り光陽館／一平堂書店／弘栄堂
- 三鷹　東西書房
- 武蔵境　中森書店
- 田無　朋文堂／田無書店
- 小平　朋文堂／中森書店
- ひばりケ丘　正育堂本店
- 小金井　J書店／新生書店
- 国分寺　三成堂／けやき堂
- 国立　東西書店／あらた書房
- 明大前　中森書店
- 調布　三省堂
- 府中　スミレ書店
- 豊田　三成堂
- 八王子　喜鳳堂／くまざわ書店
- 高尾　啓文堂
- 町田　福家書店／久美堂／久美堂小田急店
- 厚木　内田屋書房
- 大田区長原　藤乃屋書店
- 大森　町田書店
- 蒲田　栄松堂
- 川崎　ブックセンター文教堂／ヤマトマンガハウス／ソーブン堂／文教堂溝ノ口店／早川書店
- 武蔵小杉　往吉書房小杉店
- 横浜　有隣堂伊勢崎店／ステーション栄松堂／相鉄栄松堂／キディランド
- 上大岡　上大岡ブックセンター／太蔵書店
- 日吉　山村書店
- 横須賀　平坂書房駅前店／サン書店
- 藤沢　西武ブックセンター／静雲堂
- 小田原　伊勢治書店

（中部地区）

- 新潟　紀伊国屋
- 長岡　目黒書店
- 新津　神田書店
- 金沢　至誠書房／ブックス宮丸竪町店／宮丸書店
- 福井　じっぷじっぷ
- 松本　長野改造社
- 甲府　西武ブックセンター
- 静岡　栄豊堂／藤田書店／渡辺書店
- 沼津　福家書店／宝塚マルサン書店
- 清水　多賀書店／菊屋書店
- 藤枝　江崎書店
- 浜松　明屋書店／リブレモール谷島屋／砂山ヤマモト
- 豊橋　西武ブックセンター
- 春日井　勝川三洋堂
- 名古屋中区　福文堂書店
- 瑞穂区　新瑞有隣堂
- 千種区　池下三洋堂／青雲書房／ウニタ書店
- 昭和区　杁中三洋堂／太進堂書店
- 守山区　四軒家三洋堂
- 名東区　白樺書房
- 中村区　三省堂／鎌倉文庫エスカ店／鎌倉文庫第三店
- 蒲郡　ユニー金原書店
- 刈谷　杁中三洋堂刈谷店
- 岐阜　星野書店／南陽堂書店／自由書房
- 一宮　バビーブックスタマコシ／文泉堂書店

（近畿地区）

- 京都中京区　三月書房／そろばんや書店
- 四条　京都書院河原町店
- 三条　ふたば書房河原町店
- 蛸薬師　ミレー書房
- 上京区　京都書店／セイレイ社
- 下京区　ブックストアー談
- 左京区　恵文社一乗寺店
- 北区　リーブル烏丸
- 千本北大路　キネマ書房
- 南区　いのしし堂支店
- 奈良　南都書林
- 大阪北区　ブックス5駸々堂／旭屋本店／紀伊国屋
- 阿倍野区　旭屋アベノアポロ店
- 都島区　大阪書店
- 堺　アミーゴ阪和堺駅前店／わんだぁらんど
- 高槻　ブックス桂屋／コーベブックス西武高槻店
- 神戸生田区　ジュンク堂／漢口堂書店三宮店／イカロス書房
- 垂水区　文進堂書店
- 姫路　新興書房
- 宝塚　大野屋書店／キリン堂コミックランド

（中国・四国地区）

- 米子　油屋書店
- 岡山　細謹舎／紀伊国屋
- 広島　中央ニュー胡町店／中央廿日市町店
- 高知　ぶっくいん片桐
- 高松　不二書店
- 松山　明屋書店
- 鳥取　定有堂書店

（九州地区）

- 福岡　りーぶる天神／福家書店／紀伊国屋／金文堂地下街店／金文堂野間店
- 小倉　福家書店／金栄堂
- 熊本　紀伊国屋／まるぶん／三章文庫
- 那覇　おきしょ

ノリコの漫画教室

ノリマン

先月のごんだなおおきの作品で〃ノリマン〃を〃ノリフン〃と書いてあると、全国のノリマンファンのよい子からおたよりがあった。私はフンではないぞいくら冒頭でウンコの話をしたからってフンと一緒にしないでほしい。

藤岡市の坪井孝司の作品　上

お題とは関係ないけど、とてもおもしろいので特別に上。でもこれだけよく世になるといけねえからな。

長浜市の伊部誠三の作品　上

絵が何となくクサリーでよい。タラコクリームでモテモテになる!!というのは考えもん（考案したんをみよ!）

鹿児島の蒲生の村広しの作品　中

3. 国際漫画大賞の優秀賞受賞のお祝いにナベゾ氏からもらったタラコクリームでフープ博士はクルマをつくりました。でも困ったことに猫たちが追いかけてくるのです。ぶいさん村からきた猫もいます。その後ろからレスビアンヌ能瑠子までついて来ます。さあ、大変！
（「フープ博士のタラコクリーム」より）

2つのストーリーを合体させるというのは、おもしろいアイデア。ほかにも「タラコー発」とか「タラコの扉」なんて作るとおもしろい。

桑名市のおーい俊郎の作品　中

アッ！ノリマンは知らないよ、こんなこと書いて、ナベゾの奥さんはツオイ!! 今後あなたがどうなっても責任はもちませんエンガチョ

香川の福家雅人の作品　中

おもしろい～!! でも青林堂の本をいたぶるのはたいへんよくない。他の出版社の本なら上なのに。ザンネンネー

秋田の佐藤真登の作品　並

まっすぐにみてきた私は何ひとついいことがなかった。ケッ！ナナメが一番いいの!!

町田市の大坂のブコの作品　並

こんなこと誰が考えるの、早く下ネタから卒業されることをお祈りしてやみません。

春日井市の森雄一の作品

ここまでロコツにかかれるといくらノリマンでもハズカシイなあ。2時間ねー ちょっとねー、… なんだよねー

来月のお題・蒲生の村広し君のアイデアがおもしろいのでいただいちゃう。いろいろなストーリーを合体させおもしろいのを作って下さい。

読者サロン

十三子に惚れた……

伊部誠三（長浜市）

肥後十三子のマンガは爽快だ。彼女は、独自の時間と空間の中に、魅力的なひとりの男（真昼間に弾ける花火のような男）をときはなつ。『ゴリラの御帰宅』もそんなマンガだった。「悪い人ではない」がとっても乱暴なゴリラの「わけのわからん台風」のような近況報告の様子が、大胆にしかも繊細に描かれている。

心のスミでいつも気にしていたに違いない親父との対面のシーンが素晴らしい。ケムたそうに視線を水平線のあたりに向けてサグリをいれるが、ソッケなく無視され（ここで画面がわかれて）やや憮然。気をとりなおしてシンミリとオフクロのことを言うと、親父の（負けてなるか）という感じの「へらず口」。ゴリラこれにセンス良く応え、ふたりの間の垣根がとれて心が近づく。このあたりの呼吸の絶妙さ。いやもう実にたまらない。急にゴリラが可愛いくなってくる。それから、介抱してくれた女と良い仲になり、それなりにうまくやってるから心配するなという気持ちと、親父達者でいろよという気持とを、写真とお金を残すことでデリケートに表現しあざやかに消えてしまう。親父おどろいて「何だあいつは、何しに帰ってきやがった!!」と言うが、このあときっと「もっとゆっくりしていけばよいものを」とつぶやいたことだろう。十三子に惚れた。

1月号では、このほか、三十枚近くの長篇を熱心に描ききった情味のある『ぼうずのざんげ』、なつかしい新諸国物語ふうのメルヘン『おもて』、何度読んでもククッと笑える超論理人間マンガ『夜行』が、意欲的で良いと思いました。

先生はえらい!!

芝　門（埼玉）

高信太郎先生の「幻想の明治」毎月楽しみにしています。まさしく幻想の不思議物語で、このお話を重い文章で書いたならば「雨月物語」の世界に向かい、ヘタすると泉鏡花賞風となるのを、おとくいのコーシン落語にもってく処、先生はえらい!と思います。のんびりした線の太目の人物たちもいい雰囲気でほっとします。

12月号のつりたくにこさんの「海蛇

ガロ投稿作家の諸氏へ

※ガロへ投稿する場合次のことを注意して下さい。

①原稿料が出ません。当社としてもたいへん心苦しく遺憾なことですが当分の間は、無理と思います。この問題は皆様にとっても重要なことと思いますのでよく考えてから投稿して下さい。

②返却用封筒（切手貼付）の入ってないものは、返却できません。

270mm
○○○-○○ 東京都千代田区神田神保町1の62 青林堂行 二折厳禁
荷造りのテープで補強しておくといたまない
※封筒と同寸のボール紙を入れておく
○○○-○○ ○○県○○市 誰・某殿 二折厳禁
（返却用）

③寸法・原稿は必らずタテ27.3cm ヨコ18.2cmでお願いします（仕上がりの一・三倍）

④墨汁または製図用インク（黒）を使用して下さい。中間の調子が必要な場合は、スクリーントーンを貼り込んで下さい。うす墨によるボカシはさけて下さい。

⑤セリフ・ナレーション（ネーム）は鉛筆で読みやすく入れて下さい。

⑥ページ数は何ページでもかまいませんが30・40とあまり多くなると本誌のページ割りがむずかしくなってきますので16〜20ページぐらいが適当かと思います。

⑦送り先 〒101 東京都千代田区神田神保町一の六二 青林堂

⑧なぜ投稿するのか、作品を通して訴えたいことは何かをもう一度よく考えて下さい。編集部としては作品が多少未熟であっても可能性のあるものは、意欲的にとり上げるつもりです。皆さんの作品を期待しています。

以上

と北斗七星」もよかった。前に未発表作が載ったが、旧作でも新作でもよいから、つりたさんのを載っけて下さい。

赤瀬川原平さんの芥川賞受賞

網田敏（狛江市）

私は、つい先頃、書店の店頭で『虚構の神々』に新しく取り付けられた帯のコピーを目にするまで、赤瀬川さんが芥川賞作家になられていたことを知らなかったし、知った後でも私の頭のなかで赤瀬川さんと芥川賞がなかなか結び付かず、かなり混乱した。また、愛読者を気取っていながら赤瀬川さんが尾辻克彦のペンネームで小説を描き始めていたのさえ知らなかったことにショックしたものだ。

とにかく、早速その第一小説集『肌ざわり』を求めて帰り、ずうっと通読してみた訳なのだけれど、正直云ってその変貌ぶりに驚かされてしまった。なるほど、たしかにそれは赤瀬川さんの世界だった。近作の『虚構の神々』や『少年とオブジェ』、あるいは『鏡の町皮膚の町』の前記後記にみられた一種の醒めた敗北感のようなものがここにもある。だが、これは小説と云う形式がそうさせるのだろうか、どちらもニヒリスティックではあるのだけれど、『鏡の町…』などはまだまだ攻撃的だし、「浅間山荘テレビ事件以後」であればあるだけにかえって、その毒が強くなっていた感さえあった。それがこの小説集はどうだろう、ジャーナリズムや経済機構全体を向うにまわしいいように手玉にとってみせた櫻画報・主筆・赤瀬川原平・資本主義共和国の面影は、ほとんどない。まったく、『内部抗争』なのである。（それはそれで素晴らしいのだが）

私は決して赤瀬川さんの文学活動開始と、芥川賞受賞にケチをつけるつもりはなく、赤瀬川さんの仕事にはじめて正当な評価が下されたと云う意味で、心からお悦び申し上げる。が、私が危惧するのは、今回の受賞によってそうしたこれまでの「赤瀬川原平」が「尾辻克彦」の表面から消滅してしまうことだ。これは、私だけでなく、赤瀬川原平ファンの全部に共通している想いだろう。

——しかし、それにしてもスゴい人ですね、赤瀬川さんは。

阿佐ヶ谷の風に吹かれて♬

美濃あかね（名古屋）

二年前より、ただひたすら永島慎二サンの作品ばかりを、胸に感じて暮らすようになりました。去年の夏の終わり阿佐ヶ谷の風に吹かれてきたのだけれど、これといって印象のなかったことを思いだしながら、それでもイチョウの葉を記念に一枚ちぎってきたのです。それと古いレコードを買って名古屋に帰ってきたのです。名古屋もお正月をむかえ、少しさわがしいのです。永島慎二さん「どうもありがとう」、あなたのこと知らない私からの年賀状です。受けとって下さい♡

チャンバラトリオにやらせてほしい

東山秀樹（大阪）

先日、フトてれびを見ていると、チャンバラトリオが高先生の恩讐の彼方にをやってたんや。少し、笑いを考えて筋がちゃうように思ったが、山根の熱の入った演技、哲ちゃんのボーットした様子、リーダーのいつものしぐさ、はりせんでたたかれる伊吹、みんないつもより熱が入っていて「お笑い」としてとらえずやっていたと思うたんや。これからもチャンバラにいろいろやらせてほしいと思う冬、たけなわでした。

ガロは〝力〟がわいてくるぞ!!

トキタマサコ（小田原）

会社で仕事中にかいている。ガロはいい本です。今回の『アタシ達の青春』は特にいい。女の子達が「くっせー」というところは、最高にいい。しゃれている。このまえの『ドクデンパ』のも特によかったが、今回のはアッカンです。バックに警報器のしるしが入ってるところなど、おおいにいい。あたしの生活なんて、うらおもてがひどくて最低だけど、ガロは『力』がわいてくるぞ。私はこのところ日々わるくなっていくようだな。なんかこうカンゲキがなくてね。情人もこうもう毎回続編で、チャンスが有るならとりかえたい気分です。男はおかねがかかってたいへんです。

通信欄

■少女漫画から劇画まで、各種単行本雑誌を譲ります。リストご希望の方は、切手80円分同封して、ご連絡下さい。
〒251藤沢市藤沢656・第6藤沢荘2F
〈矢代たかし〉

■水木しげる「鬼太郎夜話」①②③「墓の町」「怪奇鮮血の目」「怪奇一番勝負」「霧の中のジョニー」「化鳥」「おかしな奴」「ないしょの話」以上の中の本と、私の水木しげる「古墳大秘記」

「夜の草笛」「地獄ながし」「火星年代記」又は永島慎二「三人の暗殺者」「つげ義春初期短篇集」横山光輝「レッドマスク」等の本と交換して下さい
連絡を待っています。よろしく。
〒292千葉県木更津市永井作2―6―7 〈大野健治〉

■手塚治虫・水木しげる・つげ義春・石森章太郎他、掲載の少年マガジン・サンデー・キング・冒険王・少年画報・単行本・キャラクター品100種有、切手200円同封の手紙ノミにて連絡を。
〒248鎌倉市七里ガ浜東3丁目14の14 〈武蔵野美啓〉

■アトム全20巻（GC）石森選集全20巻（虫プロ）牧美也子「青い十字架㊥」「リボンの騎士③」（A5）等、手塚多数を適価で譲ります。ちばてつや、松本あきら等の単行本と交換も可。往復ハガキで連絡を。
〒287―01香取郡栗源町西田部664 〈角田和久〉

ゴシップ

速水恭子コンサート「春風走」

浪曼写真に登場した**女王キョーコ**さんがコンサートを開きます。**民謡**を現代風にアレンジしたものから**ブルース**まで幅広いレパートリーで迫ります。友達や家族の人達をさそって行ってみよう!!
3月9日・大塚ジェルスホール
TEL・910・8565

『**偽日記**』の売れ行きも好評でこのところ忙しい**荒木経惟**氏、今度は北宋社から『**女旅情歌**』（千八百円）が出ました。日本中を旅し行く先々で写した写真と文章がのっています。写真にしても文章にしても荒木氏の持味が隅々まで出ており、読みごたえのある今月のお薦め本です。

無国籍コミックを描き続けている、**沢田としき**君の作品集『**ブルース**』（B5判・定価600円・限定300部）が出る。ガロでおなじみ**たむらしげる博士**や**絵本作家長谷川集平氏**の文章も収録されていて、全ページに洒落た感覚が溢れる好短篇集だ!! 申し込み先は〒168杉並区和泉4―20―12サワダコミックスカンパニー（送料300円）先着30名様にはオリジナルポスター付。なお、3月5日～8日新宿野村ビル地下ホール阿佐美卒制作展内で発売記念サイン会もあるそうだから、みんなで行こうー!!

ガロ作品総目録

以前にも紹介しましたが、まだ多少ですが、残部があるそうです。創刊号（三十九年九月）から一九二号（五十四年十二月）までの十五年余にわたるガロの作品目録、それに**作家別索引**までついています。なくなってからではもうおそい!! ほしい人は**〒890鹿児島市中央郵便局私書箱100号『はなのまり』**まで大至急**千二百円**（定価千円＋送料二百円）をそえて申込むべし!!

☆先頃発表された**第84回芥川賞**に、赤瀬川原平（**尾辻克彦**）氏の作品『**父が消えた**』（文学界12月号）が選ばれました。ガロ編集部一同心から祝福し、また今後の御活躍に期待したいと思います。去る2月12日、**丸ノ内東京会館**で行なわれた**授賞式**には、今をときめく**タラコマン渡辺和博**氏が赤瀬川氏の愛弟子の一人として出席されましたので、その模様を詳しく取材してもらいました。

★あいさつをする赤瀬川氏

尾辻克彦氏芥川賞パーティー

新聞報道なんかでご存知の通り**尾辻克彦**こと**赤瀬川原平**氏がついにとーとー**芥川賞**を受賞され、賞金**50万円**の贈呈とパーティーが**丸ノ内東京会館**で行われた、当日の**赤瀬川**さんは**中央公論新人賞**の時と同じような**上着**でたいへん**立派**な受賞のあいさつをされた、さてパーティーの**食べ物**であるが今日はウイークエンドスーパーの**スウエイ**氏とともに受賞を**祝い**ながら受賞者の**赤瀬川**さんのそばのテーブルで食べた、これは**赤瀬川**さんのいるテーブルではみんな話に熱中していたり**お祝い**のことをゆっていたりするので自分や**スウエイ**氏のよーな**物**が**活躍**することが出来るのである。さて二次会は**四谷三丁目会員制パブホワイト**で行われ、駆け付けた男優の**小林薫**氏が**十年来の芸**である『**そして神戸**』他を披露されたり、ガロ元々編集長南伸坊氏による本物の**長嶋監督**が**カンチョー**や**ゲイ**行為におよぶ所なんかもされて一同たのしく**祝**ったのでした。**前科者**最初の**芥川賞作家**である**尾辻克彦**さんは当分は作家に専念される模様であるが、おりを見て絵の方に舞いもどられるようなので僕たちは期待しよう。

〈和博記〉

★直木賞の中村氏と

★２次会、氏を囲んで祝う仲間の方々（手前が小林薫氏）

今月号の表紙を描きおろして下さった**つりたくにこ**先生は、現在エリトマトーデスという難解な病と闘う毎日を送られています。本当は漫画や絵を描く事はたいへんな重労働で、お身体には良くないのですが、今回の表紙を快く引き受けて下さいました。全国のつりたファンの方々は、是非当編集部宛に**励まし**の**お便り**をお寄せ下さい。お待ちしています!!